

<名古屋市：駐車場案内システム>

施策名	駐車場案内システム
取り組みの背景 地域の交通環境問題 行政・市民ニーズ 交通基盤シーズ など	背景 1：名古屋市の都心部における慢性的な交通渋滞の解消が必要 背景 2：渋滞の要因として、違法路上駐車や駐車場探しによるうろつき交通及び駐車場の入庫待ちが考えられる。
目的・ねらい 目的・ねらい 対象交通 など	●目的・ねらい：栄地区及び名古屋駅地区において、駐車場の入庫待ちや駐車場探しのうろつき交通の削減を図るために駐車場案内システムを導入した。 ●対象交通：名古屋市の都心部（栄地区及び名古屋駅地区）で駐車場を利用する自動車
取り組みの経緯 経緯・熟度 など	[栄地区] 昭和 63 年度～平成元年度 駐車場案内システム整備計画策定 平成 2 年度 実施設計 平成 3 年 5 月 27 日 栄地区駐車場案内システム供用開始 [名古屋駅地区] 平成 6～7 年度 駐車場案内システム整備計画、基本計画策定 平成 8 年度 実施設計 平成 11 年 6 月 9 日 名古屋駅地区駐車場案内システム供用開始
主体・広報・費用 実施主体 検討組織 広報スケジュール 費用負担 など	●実施主体：名古屋市、国土交通省、愛知県警察本部、駐車場事業者 ●検討組織：学識者、建設省、愛知県、名古屋市、駐車場事業者 商工会議所 ●広報：システム供用前にマスコミでの広報及び広報なごややパンフレットによる広報活動を行っている。 ●費用負担：事業主体は国、市、駐車場事業者

実施概要 対象地域 実施日時 施策内容 など	●対象地域：名古屋市 栄地区(約 200ha)及び名古屋駅地区(約 180ha) ●実施日時： 栄地区 平成 3 年 5 月 27 日 名古屋駅地区 平成 11 年 6 月 9 日 ●施策内容：名古屋市都心部の駐車場探しによるうろつき交通や駐車場の入庫待ち及び違法路上駐車による交通渋滞を解消するために、駐車場情報を提供し、道路交通の円滑化を目指す。
効果測定内容 測定内容 効果把握 など	●効果測定内容 ●効果把握結果： ①駐車場利用の平準化 導入前 中心部 4 6 %：周辺部 5 4 % 導入後 中心部 3 7 %：周辺部 6 3 % ②路上駐車 の 減少 導入前 2, 6 5 4 台 、 導入後 1, 9 4 6 台 ③入庫待ち台数の減少 導入前 3 5 5 台 、 導入後 1 7 1 台
取組上の課題 合意形成 費用負担 など	課題 1： 対象地区の駐車場を全てシステムに加入させることで、システムの効果が最大限に発揮出来ることになるが、実際は小さい駐車場になるとシステムに加入しない駐車場もある。 課題 2：ドライバーに駐車場情報を提供していても、違法路上駐車へ移行してしまうドライバーもいる。 課題 3：現在のシステムは道路上に設置した案内板による案内となるため、駐車場直近でなければ情報を入手することが出来ない。そのため、ドライバーの任意の時間や場所で情報を提供出来るようにする必要がある。
その他特記事項 今後の方向性 地域指定 等	課題 3 にあるように今後は、ドライバーの任意の場所や時間での情報提供が出来るように携帯電話やパソコンを活用した駐車場案内を行えるように検討する必要がある。

以上

都道府県市名 : 愛知県名古屋市
担当部局名 : 住宅都市局都市計画部交通施設計画課